

# 住民登録番号

(久保田潔東大薬剤疫学教授による訪問調査資料を参考に作成した)

- 例:660918-110211x(計13ケタ)
- 誕生日・・・yymmdd
- 1・・・性
- 1021・・・出生届出した役所番号
- 1・・・その日の届出順位
- x・・・役所がランダムにふる番号
- 出入国記録, がん登録, 人口動態統計等のリンク可能
- 研究目的のリンクのためなら12ケタで十分(12ケタ)

# 名寄せにより「実」人数が把握できる

2006年中皮腫で147人が1190回受診した・・・

【表1】韓国における悪性新生物受療状況(外来, 2006年)実人員上下10位のみ

ICDコード	疾病分類	実人員	請求件数	来院日数
	<b>計</b>	<b>576,006</b>	<b>2,681,220</b>	<b>4,697,812</b>
C16	胃の悪性新生物	90,861	400,362	620,206
C50	乳房の悪性新生物	62,068	341,898	693,882
C73	甲状腺の悪性新生物	62,057	290,890	369,998
C22	肝及び胆管の悪性新生物	38,719	191,437	325,681
C34	気管支及び肺の悪性新生物	37,610	194,019	400,597
C18	結腸の悪性新生物	37,360	158,281	263,953
C20	直腸の悪性新生物	29,943	143,923	284,869
C53	子宮頸の悪性新生物	24,424	92,081	173,242
C61	前立腺の悪性新生物	17,392	97,672	154,603
D06	子宮頸の上皮内癌	17,376	39,692	53,962
	・・・<中略>・・・			
C52	膣の悪性新生物	231	855	2,146
C00	口唇の悪性新生物	208	469	887
C33	気管の悪性新生物	188	569	1,104
<b>G46</b>	<b>中皮腫</b>	<b>147</b>	<b>676</b>	<b>1,190</b>
C63	その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	148	266	545
C46	Kaposi肉腫	137	497	1,267
C94	その他の細胞型の明示された白血病	124	453	746
C88	悪性免疫増殖性疾患	57	328	542
C93	単核球性白血病	50	152	256
C97	独立した(原発性)多部位の悪性新生物	40	71	134

[http://www.hira.or.kr/ICSFfiles/afieldfile/2007/02/23/data\\_2006.xls](http://www.hira.or.kr/ICSFfiles/afieldfile/2007/02/23/data_2006.xls)

# 医療機関単位の医薬品使用実態 (DUR, Drug Utilization Review)

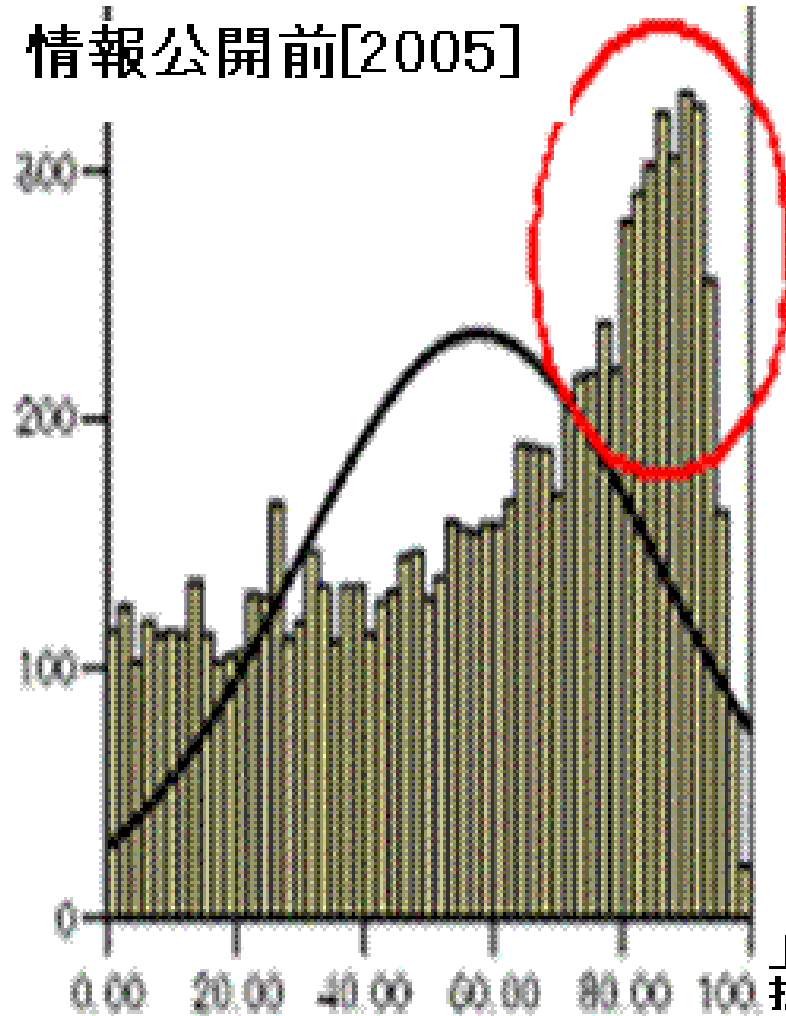
# 活用例) 脳梗塞に対する血栓溶解療法

脳梗塞入院患者に対するtPA投与率の状況(審査評価院脳卒中診療適正性評価結果(2007年9月)50頁)

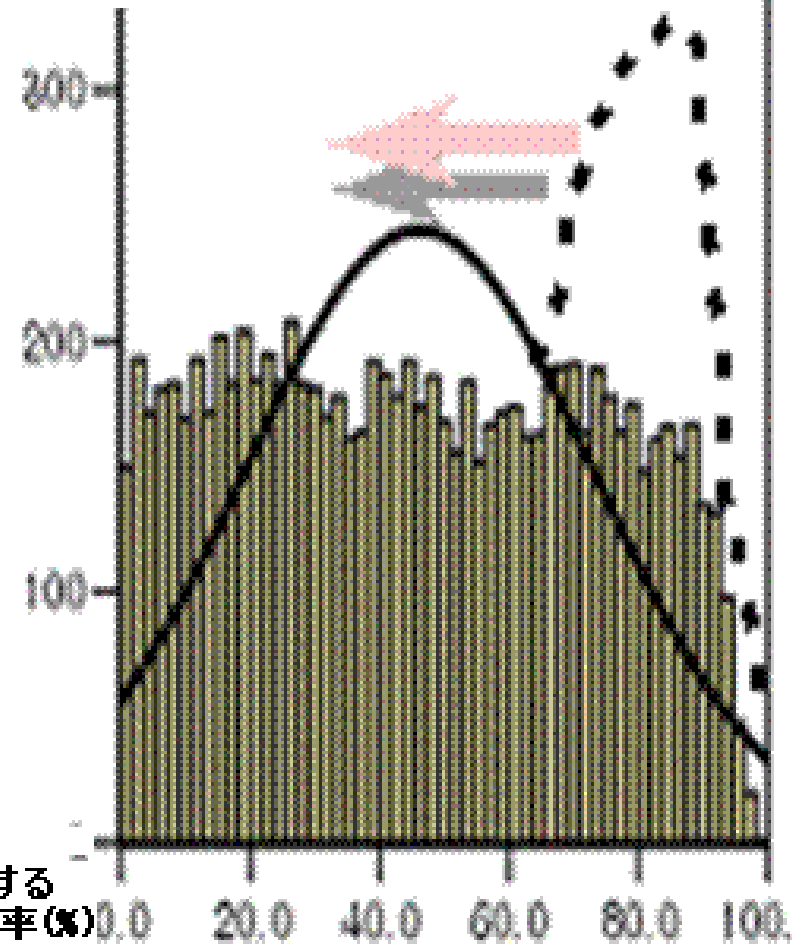
	機関数	レセプト件数	tPA投与件数	全体平均投与率	医療機関当たり投与率			
					平均	標準偏差	変化係数	中央値
合計	141	1,973	429	21.7	22.8	24.6	107.6	20
総合専門病院	31	447	153	34.2	38.9	29.5	75.9	33.3
総合病院	110	1,526	276	18.1	18.3	21	114.8	14.3

上気道炎に対する抗生物質処方率別の医療機関数の分布  
[韓国健康保険審査評価院による]

情報公開前[2005]



情報公開後[2006年]



上気道炎に対する  
抗生物質処方率(%)

# 外来患者注射剤処方率

「注射剤処方率」は外来受診した患者の中で注射剤を処方を受けた患者の割合。

先進国の専門家は外来患者の注射剤処方率を5%以下が適正と示しているが韓国の外来患者注射剤処方率はきわめて高い。

薬剤適正性評価項目の一環で2002年から期別に評価を実施。

医療機関別に外来患者に処方する注射剤の使用実態を分析してその結果を各機関に提供することで不必要な注射剤使用を減らして必要な患者に処方することができるようにするなど注射剤適正使用をはかる

※ 審査評価院は健保法第56条及び同法施行規則第21条の規定によって医療機関の注射剤使用実態を評価し、同法第59条及び同法施行規則第28条3項によって医薬団体、消費者、保険者などで構成された中央評価委員会の審議を経て結果を公開する。

結果・・・39.11%(2002年)→31.58%(2003年)

→28.39%(2004年)→25.96%(2005年)→23.23%(2006年)(HIRA年報より)